

家の時間が一番楽しい

完成現場報告
島田市 / 『里の家』

文・写真 / コロラボ 山崎健治



大きな木製ガラス戸を中心とした広間。上に伸びた吹抜けや横に繋がる土間など、ワンルームの中に様々なシーンが見え、暮らしの楽しみが広がる空間。

季節の移ろいは早く、春から初夏へと変わる時期は、毎日見ている山の景色が一気に変わります。山桜の淡いピンク色が芽吹いたばかりの若葉の中にポツポツと見え、一年の中で一番綺麗な山の景色を見ることができます。透き通るような弱い若葉もだんだんと力強く色付き、青々としてっかりとした葉に変わる頃、山の景色は初夏の色へと変わっていきます。今回ご紹介する『里の家』も緑豊かな景色に包まれ、少し高台にある敷地からは山の樹々がとても綺麗に見えます。撮影に伺った5月中旬には、桜やアジサイの葉が青々と開き、大きな窓からは心地よい風景と共に爽やかな風が室内に流れていました。一昨年の12月に完成を迎えたUさんのお宅は、お子さんの誕生と共に新しい暮らしがスタートし、今までの暮らしから180度生活が変わりました。木の家の暮らしと初めての子育てが重なりバタバタとした一年が過ぎたと思います。ですが、家の中の様子をみると、暮らしを彩るアイテムが増えていたり、趣味を楽しんでいる様子がみえて、案外、木の家暮らしを楽しんでいるなど感じました。今回の通信では、木の家の紹介と共にUさんの趣味を楽しむ暮らしぶりも合わせてご紹介したいと思います。

暮らしに合った 自然豊かな土地に暮らす

Uさんご夫婦はご主人の仕事の関係で元々掛川市に住んでいました。私の自宅にも近い距離で、近くの美味しいお店の話などで盛り上がった事を覚えています。多趣味なUさんご夫婦、ご主人は革細工をしたりステンドグラスをつくったり、奥さんはパンづくりなどに興味があり、アパートの中にはミシン台や工具などもありました。アパートもだんだんと手狭になり、趣味を楽しむ好きなものに囲まれた自分たちの空間が欲しい…Uさんご夫婦の家づくりのきっかけだったと思います。せっかくな家をつくるのなら、自然豊かな土地に住みたいと考え、色々な土地を探したと伺いました。探せば探すほど見えてくるのは奥さんが育ったご実家の環境。山に囲まれた静かな場所に建ち、小鳥のさえずりや樹々の緑に囲まれた暮らしが一番しっくりとくる事に改めて気づき、ご両親との将来の暮らしも考えて、ご実家の隣に建築する事を決めました。ご実家のある敷地環境はとても良く、暮らしやすいような場所ではありませんでしたが、建築する側から見ると、いくつかりアーンしなければいけない問題もありました。計画当初はご実家の東側にある離れと作業小屋の場所に新築する案でしたが、裏山の斜面に近い場所に建つ事から「がけ条例」に

薪づくりワークショップ in 『里の家』 2015.6

『里の家』の着工に合わせて裏山の木を数本伐採しました。あまりにも大きくなった木は敷地に覆いかぶさるように成長し、台風などで倒れたり枝が落ちてきては大変…ということで解体屋さんに切ってもらいました。敷地から見上げるのと実物を見るのでは大違いで、伐採された木は、太く長く…そしていい薪になりそう。職人さんにお願いして数本敷地に残してもらい、着工前にUさんと薪づくりを計画。ですが、とても二人では手に負えないボリュームとすることでココラボOB(お施主さん)さんに声をかけ、急遽、薪づくりワークショップを行うことになりました。



上) 想像以上に太くて大きな木、作業は大変でしたがとても良い薪になりそうです。



左) 薪を順番に車に積んでいきます。この時のバケツリレーが感動…みんなひとつになりました。



最後までパワーが落ちなかった『里の家』のNさん。さすがスポーツマン。



割った薪は人数に合わせて山積み。いい薪がたくさんできました。

集まったのは島田市周辺のココラボOB&計画中(着工中)の薪ストーブユーザー10名程。『里の家』のNさんをリーダーに、手強い大木を相手にどんどん薪をつくっていきました。薪づくりの仕事分担は主に2工程で、チェーンソーで玉切りする人と斧で割る人。すでに何回か一緒に作業した方々もいるので、なんとなく役割分担が出来ていました。

今回の木は思っていたより硬く、チェーンソーで切るのがとても大変…。そして太く大きいので一度に刃が届かず木を回して切りました。玉切りは薪ストーブの大きさでも違いますが30~40cm程度に切っていきます。切った丸太は斧チームがひたすら割っていきます。力も必要ですがコツも必要で、木のツボに入ると気持ち良く割れ、大きな丸太は中心ではなく周りから裂いていくように割るのがコツ。ベテランさんにコツを教えてもらいながら初めての方も次第に慣れ、たくさん薪をつくる事が出来ました。

1日では全ての木を割ることは出来ませんでしたが、半分以上の木を整理することが出来ました。残りは工場に持って行き希望者で割っていただきました。これでやっと着工が出来ると私もほっと一安心、みなさまありがとうございました。

今回の薪づくりをきっかけにSNSでグループをつくり、年に数回の薪づくりを行うようになりました。薪ストーブはメンテナンスや使い方などの不安もありますが、何と言っても薪の確保が一番の仕事。街路樹や茶畑の木の選定など、みんなで情報を集めて楽しく薪づくりを行っています。そして、ココラボOBさんが集まっておしゃべりするのがとても楽しげで嬉しいです。『里の家』の薪づくりワークショップをきっかけに、今後も薪ストーブの輪を広げていきたいと思っています。

※ 剪定木や不要な木の情報を募集しています。
いただける木(伐採した木)がある方は下記までご連絡ください。
メールアドレス: office@kokolab.jp(山崎)



元々駐車場として利用していた敷地を分けてもらい、ご両親の住まいと並んで建築した。ご両親との、付かず離れずの良い関係が出来ている。



玄関ポーチ正面に坪庭を配置し、明るく楽しい雰囲気をつくっている。坪庭は玄関内部や広間からも望め、採光や通風の機能面からも重要な役割を果たしている。



南側道路から見上げる外観。清々しい漆喰の白と木部とのコントラストが爽やかな印象の外観で、シンプルな切妻大屋根がすべての空間を包み込んでいる。

抵触し、また、道路との高低差も2m程あり、アプローチや基礎形状などを考えると建築コストの面からも戸惑いがありました。問題をクリアしていけば建築可能な敷地ではありましたが、敷地をひとつおり調べた所で、私からご実家の西側の土地に建築する事を提案しました。広さの面から諦めていたと伺いましたが、樹木や小屋を整理すれば十分な広さが確保出来、こちら側は山の斜面も緩く、また道路との高低差はありますが車が直接出入り出来る土地でした。ご両親の駐車場として使っていた場所ではありませんでしたが、東側に駐車場を移動して進入路をつくる事で、ご両親にも納得いただき、建築地として計画して行きました。建物に絡む樹木や小屋を解体し、敷地に覆い被っていた裏山の大きな木を数本伐採しました。樹種は様々でしたが、太く硬い広葉樹で薪ストーブの薪にするには最適ということで、処分せず残してもらいました。実際に敷地にある木を見るとその量に圧倒され、急遽、ココラボの薪ストーブユーザーに声を掛けて薪づくりワークショップを行うことになりました。



土間で仕上げたワークルームは木工やステンドグラスを楽しむ部屋として考えましたが現在は多目的な場所に…。冬の間は薪置場としても活躍したようです。



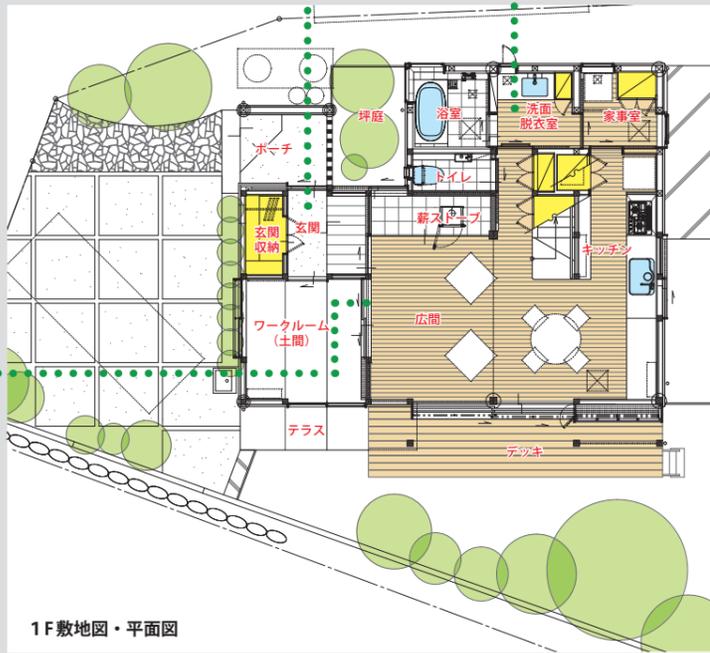
ワークルームと広間の間に設けたガラリ戸。適度に気配が感じられ、曖昧な仕切りがこの部屋の雰囲気を高めています。



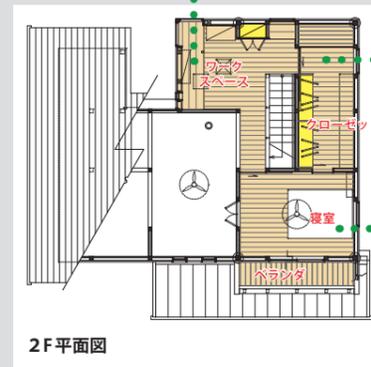
土間のワークルームは玄関と直接つながっているため、来客をそのまま案内して客間としても利用できます。靴を履いたまま気軽なトーク、いいですね。



浴室、洗面、家事室が一直線に並んだ家事動線。家事室はキッチンともつながり、回遊性のあるプランとなっている。



2階ホールの一隅に設けたワークスペース。ご主人の趣味である革細工を楽しむスペースとして制作した。屋根勾配に合わせた低い天井や小引出しを設けた作業台が雰囲気を出している。



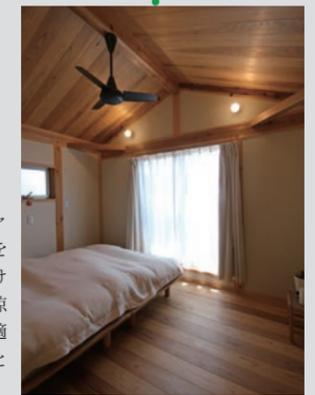
寝室とホールの2方向から利用出来る多目的クローゼット。ダンボールに革の取手を付けて引き出しやすい工夫が…うんならではのアイデアですね。



寝室にシーリングファンを設けて快適性をアップ。エアコンだけに頼らず、ファンの涼風だけでも十分に快適な睡眠時間を得ることが出来る。



ダイニングテーブルとキッチン。コンパクトに配置されたキッチンとダイニングだが、広間の雰囲気と調和し、ちょうど良いスペースをつくっている。



趣味を楽しむ空間と回遊できる家事動線

建築場所が決まった所で、早速プランの打合せが始まりました。コンパクトな空間の中に趣味を楽しむ土間やワークスペース、お料理を楽しむ勝手の良いキッチンなどを盛り込みました。そして、外せないのはやはり景色を取り込む大きな木の窓など。ご両親の家との関係や敷地の制約はありましたが、駐車場も確保しながら納得のいくプランが出来上がりました。キッチンや広間はコンパクトな広さですが、吹き抜けで縦の広がりを出し、土間や玄関との区切りを曖昧にする事で視覚的な広さをつくる事が出来ました。吹き抜けにはモダンな薪ストーブを設置し、炉台のタイルにもこだわりました。また、北の斜面の樹々も豊かな事から、玄関や薪ストーブ横から見える坪庭窓を設け、やわらかな光や山の緑を感じ、木製のガラス窓を開けると心地よい風が通り抜けるプランになりました。玄関から直接出入りできる土間はご夫婦としての希望で、木工やガラス細工を楽しむ場所にしたがり、グリーンや薪を置いておく場所としても便利です。広間との間仕切りは2枚のガラリ戸で仕切られ、気配を感じながらも独立した部屋としても使える工夫をし、来客との語らいの場所としても利用出来る空間になりました。伺った時にはUさんの収集品であるミシン台や飾り棚などが置かれ、すでに独特の雰囲気が出ている空間だと感じました。開放感のある土間や広間とは対称的に、キッチンや水周りは家事動線を考え使い勝手重視でプランされています。キッチンは広さより長さを確保し、冷蔵庫、コンロ、シンク、作業台が横に繋がっています。キッチンの反対側には奥行き浅い食器棚と食品庫を配置し、作業と共に無駄なく動ける配置となっています。キッチンは裏の動線として家事室へとつながり、そのまま、洗面室、浴室に続き、階段室をぐるっと回って広間に出てくるプランになっています。2階の階段室の隣に設けたワークスペースには、小引出しのあるカウンターと飾り棚を設け、壁と天井を杉板の縦張り仕上げました。コーナー窓から山の樹々が望め、小さな天窓からは明かりが降り注いでいます。革細工が出来る場所として棚や収納などのサイズを決め、コンパクトながらも、ホールと一体となった広がりを感じるスペースになりました。

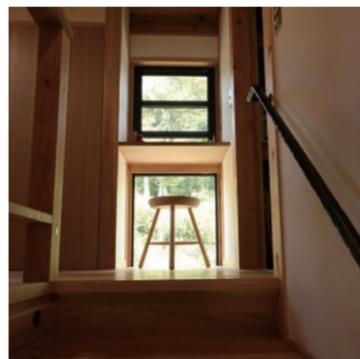


仕様内容

家族構成	家族3人
敷地面積	775㎡
建築面積	64.59㎡
延べ床面積	86.95㎡
構法	在来工法
外部仕上	屋根 ガルバリウム鋼板 タテハゼ葺き 外壁 ガルバリウム鋼板 角波縦貼り 漆喰コテ押え仕上
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
内部仕上	天井仕上 杉板本実張り 厚30mm・12mm 壁 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 漆喰塗り、青森ヒバFJ本実板張り、クロス貼り
床	栗本実板 厚15mm、杉本実板 厚30mm
内部建具	オリジナル木製建具、葛布ガラス入框戸
キッチン	ステンレスヘアアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	TOTO 人工大理石天板 システム1オリジナル洗面化粧台
設備	浴室 オリジナル浴室 300角サーモタイル貼 青森ヒバ貼
設計者	山崎健治
施工	有限会社ころも造建築研究所
竣工	平成27年12月



家の完成と同時期に誕生した愛娘。新しい暮らしと子育てが同時にスタートしたUさんご夫婦だが、案外木の家暮らしを楽しんでいる様子で安心した。



家づくりを考えている中で要望は様々だと思えますが、家族みんなの希望を出していけばキリがなく、限りある広さやコストの中では個人や夫婦の趣味の部屋などは優先順位が低くなってしまおうと思います。ですが、今回Uさんの家づくりを通して感じたことは、住まいは日々の生活だけが目的ではなく、せつかく家を建てるのなら、家そのものを楽しい場所にした、家にいる時間が一番心地いいと思える空間にしたいという気持ちを強く感じました。趣味を楽しむ土間のある部屋や広いカウンターのワークスペース、お料理を楽しむ長いキッチン、薪ストーブや景色を取り込む大きな窓など、どれも日々の生活に不可欠なものではないですが、暮らしの中に楽しい時間をつくり、また家族みんなで共有出来る思い出をつくることもできます。そして木で包まれた空間の中ではさらに楽しさも倍増し、豊かな時間をつくってくれたいと思います。Uさんご家族の木の家はまだ完成して一年半ですが、これからますます楽しく、個性豊かな木の家に育っていくと思います。素敵な小物やクラフト作品など、また見に行きますね。お子さんの成長と共に楽しみにしています。

豊かな時間が流れる木の空間



薪ストーブはダブルのピンテージ。個性的な形に気になっていましたが、木の家との相性もバッチリ。小型ながら暖房能力の高い機種です。



二方向から昇れる階段。手摺はアトリエブラトーさんに制作してもらったオリジナルのアイアン手摺。デザイン面だけでなく、持った時に手になじむ形がなんとも言えません。



コーナーに大きな縦型窓を配置した木のお風呂。壁は青森ヒバ、床はサーモタイルでつくられている。



『里の家』
こだわりの
アイテムと素材や
仕上がりをご紹介

葛布をガラスに挟んでつくる葛布ガラス、もうすっかり定番化しています。様々な色に染めるもよし、素地のまま使うもよし、木の家にマッチしたアイテムです。



4.5mの長いI型キッチンと背面の食器棚。コンロとシンクに加え、作業台が一直線に並び、効率の良いキッチンです。背面の食器棚はあえてオープンにし、普段使いの食器などを並べています。



幅1間のゆったりとした洗面化粧台。広めのカウンターや鏡を造り付け、収納も備えたゆとりの大きさ。壁天井は全て杉板



洗濯機と収納を設けた家事室。大きな収納には洗剤などの買置きやゴタゴタが収納出来て便利。